

当組合の概要

(平成19年3月31日現在)

本店所在地	広島市中区富士見町1番17号
設立	昭和28年4月
預金	1,734億69百万円
貸出金	1,312億9百万円
自己資本	78億33百万円
店舗数	30店舗
常勤役員数	231名

沿革・歩み

昭和28年 4月	広島県厚生信用組合を創立
昭和47年 4月	五日市・安芸信用組合と合併、広島県中央信用組合に改称
昭和48年 4月	松永信用組合と合併
昭和52年 7月	現在地に本店を新築
昭和54年 3月	全店オンライン化に着手
昭和57年 11月	預金・融資・為替など全科目のオンライン化を完了
昭和58年 3月	(財)けんしん育英文化振興財団を設立
昭和59年 4月	広島県信用組合(略称ケンシン)に改称
平成 3年 5月	第3次オンライン移行
平成 4年 3月	因島信用組合と合併
平成 7年 10月	日本銀行歳入復代理店許諾(本店)
平成13年 11月	損害保険の窓口販売開始
平成17年 12月	証券会社紹介業務の取扱開始

目次

当組合の概要	1
沿革・歩み	1
ごあいさつ	2
事業の概況	3
主要経営指標の推移	4
事業方針・当組合の考え方	4
庶務概要	6
役員・職員の状況	6
業務のご案内(預金業務)	7
業務のご案内(融資業務)	8
業務のご案内(その他)	9
総代会の概要	9
主な手数料一覧	10
貸借対照表	11
損益計算書	12
剰余金処分計算書	12
法定監査の状況	12
貸借対照表・損益計算書注記事項	13
自己資本・損益の状況	15
営業の状況(預金・融資業務)	16
営業の状況(融資業務)	17
営業の状況(証券・為替業務)	18
営業の状況(諸比率)	18
信用リスクに関する事項	19
リスク管理体制について	20
自己資本の充実度に関する事項	21
証券化エクスポージャー	
出資等エクスポージャーに関する事項	21
当組合および子会社等の概況	22
信用リスクに関する事項(連結)	24
自己資本の充実度に関する事項(連結)	24
証券化エクスポージャー	
出資等エクスポージャーに関する事項(連結)	24
地域貢献(地域と共に歩むケンシン)	25
組織図	25
店舗一覧、店舗外キャッシュサービスコーナー	26



新理事長の就任により新たな経営体制でスタートいたしました。

ごあいさつ

皆さま方には、日頃より広島県信用組合に対しまして、ご愛顧とご支援を賜り誠にありがとうございます。

このたび、皆さまに当組合の業績や経営内容についてご理解を深めていただきたく、ディスクロージャー誌「ケンシンの現況 2007」を作成いたしました。インターネットホームページ(<http://www.hiroshima-cdas.or.jp/kenshin/>)掲載の取扱商品やサービス内容等のご案内と併せ、ぜひともご高覧くださいませようお願い申し上げます。

さて、平成18年度の経済は、原油をはじめとする原材料価格の高騰や米国での住宅市況の冷え込みなどによる景気拡大の鈍化など不安材料もありましたが、中国をはじめとするアジア各国では景気拡大が続き、欧州諸国でも景気回復が続くなど、総じて順調に推移いたしました。わが国の経済につきましては、個人消費に足踏みが見られたものの、企業収益の改善を受けて民間設備投資の増勢が続き、輸出も堅調に推移するなど、緩やかな回復基調を維持してまいりました。

一方、金融業界におきましては、金融機関相互の競争は一段と厳しさを増しており、新BIS基準への対応として自己資本比率の正確な算定のための態勢、ならびに金融機関の規模、リスクの特性に応じた適切なリスク管理態勢の構築が喫緊の課題となっております。

このような状況下、当組合は、新BIS基準に対応したリスク管理の構築や法令等遵守の強化を図るとともに、「中期経営計画」に基づき、組合員の皆さまのニーズにお応えする商品・金融サービスの迅速な提供と、将来に向けた安定収益の確保および財務の健全性強化に鋭意取り組んでまいりました。

その結果、平成18年度の業績は、経常収益47億65百万円、経常利益5億42百万円、当期純利益5億2百万円を計上することができました。これもひとえに、皆様方の温かいご支援の賜物と感謝申し上げる次第でございます。

今後とも、コンプライアンスおよびリスク管理の徹底を図り、地域金融機関としてより充実した金融サービスに努め、地域の皆さまのご期待に応えてまいりますので、引き続きご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

平成19年7月

広島県信用組合

理事長 吉田 貞之